

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社電算システムホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 4072 URL http://www.ds-hd.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 領司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 鈴木 正伸 TEL 058-279-3456
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	50,180	11.2	2,677	83.2	2,830	74.5	2,235	163.8
2024年12月期第3四半期	45,106	2.1	1,461	△52.2	1,622	△48.0	847	△59.2

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 2,306百万円 (162.2%) 2024年12月期第3四半期 879百万円 (△60.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	209.31	—
2024年12月期第3四半期	79.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	73,351	23,847	32.2
2024年12月期	61,747	22,294	35.8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 23,629百万円 2024年12月期 22,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2025年12月期	—	40.00	—		
2025年12月期（予想）				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,500	10.2	3,500	51.4	3,530	39.3	2,530	36.7	236.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名)、除外 1社 (社名) 株式会社マイクロリサーチ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	10,798,341株	2024年12月期	10,795,550株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	100,641株	2024年12月期	133,421株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	10,681,554株	2024年12月期 3 Q	10,637,261株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の持ち直しなどにより景気は緩やかな回復の動きが見られましたが、アメリカにおける関税政策の影響や物価高の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような経営環境において当社グループは、「共創」で新たな価値を創造し、社会に貢献することを経営理念のもと、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高50,180百万円(前年同期比11.2%増)、営業利益2,677百万円(前年同期比83.2%増)、経常利益2,830百万円(前年同期比74.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,235百万円(前年同期比163.8%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報処理サービスでは、BPO（業務処理アウトソーシング）分野において、請求書作成代行サービスを中心に堅調に推移し、安定的な貢献を果たしました。SI・ソフト開発では、オートオークション業向けシステム案件に加え、自治体および民需向けともに、Google Workspace、Google Maps、Google Cloud Platformなどのクラウドサービス分野が好調に推移いたしました。商品および製品販売においては、GIGAスクール構想に対応したGoogle Chromebookの販売が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は31,389百万円(前年同期比14.7%増)、営業利益は605百万円(前年同期は営業損失460百万円)となりました。

(収納代行サービス事業)

主力の収納・集金代行サービスは、地方自治体を中心とした新規顧客の受注と稼働が順調に進展しました。さらに、前期後半から稼働した大口案件が取扱件数の増加およびペーパーレスを中心としたオンライン決済、後払いの進展により、売上高を伸長させました。このような事業拡大の局面において、一部の仕入れ単価の上昇の影響を受けつつも、徹底したコスト管理と契約の最適化により、着実に営業利益を確保いたしました。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は18,790百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は2,067百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して11,604百万円増加し、73,351百万円となりました。これは主に金銭の信託が5,790百万円、現金及び預金が2,400百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,867百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して10,050百万円増加し、49,503百万円となりました。これは主に受注損失引当金が873百万円、その他流動負債が647百万円減少したものの、収納代行預り金が4,027百万円、短期借入金が5,000百万円、買掛金が2,136百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,553百万円増加し、23,847百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,372百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月10日の「2024年12月期 決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,279	21,680
金銭の信託	15,531	21,321
受取手形、売掛金及び契約資産	11,164	13,032
商品及び製品	660	1,144
仕掛品	398	756
前払費用	6,016	6,499
その他	838	1,135
貸倒引当金	△12	△25
流動資産合計	53,876	65,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,268	1,172
土地	791	791
その他（純額）	658	631
有形固定資産合計	2,718	2,595
無形固定資産		
のれん	461	376
顧客関連資産	513	477
ソフトウェア	705	671
ソフトウェア仮勘定	64	144
その他	0	0
無形固定資産合計	1,745	1,669
投資その他の資産		
投資有価証券	2,355	2,512
繰延税金資産	635	554
差入保証金	393	440
その他	104	114
貸倒引当金	△82	△81
投資その他の資産合計	3,407	3,541
固定資産合計	7,870	7,805
資産合計	61,747	73,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,072	7,209
短期借入金	—	5,000
1年内償還予定の社債	7	—
1年内返済予定の長期借入金	206	129
未払法人税等	455	206
契約負債	9,228	10,008
収納代行預り金	19,370	23,397
賞与引当金	87	434
役員賞与引当金	23	23
受注損失引当金	899	26
株主優待引当金	46	—
その他	2,404	1,757
流動負債合計	37,804	48,194
固定負債		
社債	15	—
長期借入金	846	586
繰延税金負債	177	165
役員退職慰労引当金	208	148
退職給付に係る負債	121	99
資産除去債務	26	26
債務保証損失引当金	—	22
その他	252	260
固定負債合計	1,648	1,309
負債合計	39,452	49,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,496	2,503
資本剰余金	2,628	2,628
利益剰余金	17,323	18,695
自己株式	△420	△316
株主資本合計	22,027	23,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	118
その他の包括利益累計額合計	55	118
非支配株主持分	211	218
純資産合計	22,294	23,847
負債純資産合計	61,747	73,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	45,106	50,180
売上原価	38,393	41,997
売上総利益	6,713	8,182
販売費及び一般管理費	5,252	5,505
営業利益	1,461	2,677
営業外収益		
受取利息	3	44
受取配当金	107	16
受取手数料	25	22
投資有価証券売却益	5	15
投資事業組合運用益	1	126
固定資産売却益	1	0
債務時効益	5	7
事業譲渡益	50	—
その他	12	12
営業外収益合計	213	244
営業外費用		
支払利息	9	16
持分法による投資損失	12	32
固定資産売却損	6	2
為替差損	2	17
デリバティブ評価損	19	1
貸倒引当金繰入額	—	20
その他	1	0
営業外費用合計	52	91
経常利益	1,622	2,830
特別損失		
減損損失	245	—
投資有価証券評価損	87	—
関係会社株式売却損	—	15
特別損失合計	333	15
税金等調整前四半期純利益	1,289	2,814
法人税、住民税及び事業税	862	514
法人税等調整額	△442	57
法人税等合計	419	571
四半期純利益	869	2,243
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	847	2,235

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	869	2,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	63
繰延ヘッジ損益	1	—
持分法適用会社に対する持分相当額	2	—
その他の包括利益合計	9	63
四半期包括利益	879	2,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	857	2,298
非支配株主に係る四半期包括利益	22	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,363	17,742	45,106	—	45,106
セグメント間の内部売上 高又は振替高	98	0	98	△98	—
計	27,462	17,742	45,205	△98	45,106
セグメント利益又は損失 (△)	△460	1,912	1,451	9	1,461

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「情報サービス」セグメントにおいて固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において245百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,389	18,790	50,180	—	50,180
セグメント間の内部売上 高又は振替高	18	0	18	△18	—
計	31,408	18,791	50,199	△18	50,180
セグメント利益又は損失 (△)	605	2,067	2,673	3	2,677

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	573百万円	532百万円
のれんの償却額	88	85